

平成29年度 第1回 向日市歴史的風致維持向上協議会 議事要点録

- 日 時 平成30年2月19日（月）14時00分から15時20分まで
- 場 所 向日市文化資料館 2階 研修室
- 出席者
(委員) 高木会長、神吉副会長、高久委員、小谷委員、西川委員、大塚委員、六人部委員
磯野委員(代理：古川副主査)、今西委員、水口委員、杜下委員
小賀野委員、鈴木委員、福岡委員
(ワザバー) 近畿地方整備局建政部計画管理課 田賀課長補佐
京都府総務部自治振興課 岡部参事
(事務局・説明員等)
市長公室 今西室長
広報・ふるさと創生課 伊藤課長、谷口主幹、二上主任、北林技術主査
建設産業部 巖嶋副部長（都市計画課長）
教育部 渡辺副部長（文化財調査事務所長）、玉城副部長（文化資料館長）
- その他出席者
傍聴者なし
- 会議概要
 - 1 室長あいさつ
 - 2 議事内容
 - (1) 平成29年度進行管理・評価シートについて
国に提出する予定の進行管理及び評価に係る資料に基づき、事務局から平成29年度実施事業の進捗等について説明を行った。
 - (2) 平成30年度実施予定事業の主なものについて
計画に基づき実施予定の平成30年度の主要事業について、資料に基づき事務局から説明を行った。

【意見の要旨】

副会長： 景観法の連携について、向日市における景観の取組は、他都市に比べ独自性があるものと考えている。景観政策においては、とかく規制中心になりがちであるが、向日市においては、埋蔵文化財が豊富であり、かつて都があった場所の上で、現在の市民生活が営まれている都市である。言い換えれば、見えないところに文化資源が多くあるということであり、現在の地域の営みが埋蔵している文化財を守っているともいえる。

会 長： この向日市歴史的風致維持向上計画の特色として、向日市の古代から近代に至るまでの重層的な歴史が盛り込まれていることが挙げられる。

文化財保護法の改正等があり、昨今、文化財を含めた文化資源の活用について、議論になっているところであるが、平成29年度実施事業として説明があった未刊「乙訓郡誌」稿調査成果を活用した文化資料館の企画展示事業のような意義深い地道な取組が実施される一方、「るるぶ特別編集 京都向日市」の発行など、観光において歴

史・文化資源の活用を図る施策を実施するなど、非常にバランスがよいと考える。市民等にも歴史まちづくりの周知を図ることにつながっているのではないかと考える。

副会長： 本協議会でこれまでも意見を述べてきたことであるが、長岡宮跡周辺道路美装化事業における石畳風カラー舗装の手法を評価している。歴史の真正性に囚われ、例えば、本当に道路に古代の石畳を復元すれば、市民等の日常生活に支障をきたす恐れがある。一方、このカラー舗装の手法は、歴史ある雰囲気を感じさせながらも、地域の生活に馴染む、現代の道路のあり方を示しているものと考えている。

委員： 各地で実施される公共事業等に伴う発掘調査により出土した埋蔵文化財については、地域の方に広く知っていただくことにより、地域の履歴となり、当地にお住まいの方の地域への愛着や誇りとなる。西国街道沿いに残っている常夜灯や愛宕灯籠、それらに向日神社等も加え、街道の点をつなぐストーリーができるよう、市民の方々を巻き込んだ事業があればよいと考える。

副会長： 本協議会に関わるようになってから、毎年のように向日神社を訪れているが、今年遷座1300年を迎える神社の歴史がうまく活用されていないように感じている。

例えば、1200年前から残るもの、また、300年ほど前の神社の歴史からみれば比較的歴史の浅いものなど、現地で専門家に実物を見ながら説明を受けることができるような事業があれば、ぜひ参加したい。

委員： 向日神社は、地域の方々に守られ、愛されてきた地域の氏神である。現在も、春には参道に桜が咲き誇り、桜の径と並ぶ桜の名所となっているが、桜の維持・管理については、苦労もある。なにか知恵があればお借りしたい。

昨年度に整備された神社の休憩所は、多くの方が利用され、憩いの場となっている。休憩所には、ガイドブックやパンフレット類も配架しており、「るるぶ」などは、好評であると聞いている。

委員： 平成30年に事業に着手される「JR向日町駅前周辺観光交流センター整備事業」についてであるが、整備概要や施設に付加する機能など、現段階で示すことができるものがあれば教えていただきたい。

事務局： 施設の整備地となる土地は、市道拡幅に係る用地買収の代替地として市が所有していた土地と、当該土地に隣接し、市が購入することで協議が整った財務省用地とを合わせた土地で、市の玄関口にあたる場所になることから、観光交流センターとして整備することになったものである。施設に付加する機能については、今後検討する予定であるが、観光バスが駐車できる駐車スペースや、市内産野菜やお土産品等を販売できるスペース、また、観光案内所等の案内機能等を設けたいと考えている。今後具体の検討を進めていく際には、向日市観光協会の皆様からご意見やご指導を賜りたいと考えている。

委員： 向日市は、乙訓中学校の前身である乙訓高等小学校がかつてあった、乙訓地域の中心となった場所である。

この向日市歴史的風致維持向上計画における議論においても、これまでの教育の歴史や、歴史・文化資源を活用した今後の教育のあり方等についての視点があればよいと考える。

3 その他

- ・本協議会において審議いただいた平成29年度進行管理・評価シートについては、本日の意見を反映させ、国に提出した後、ホームページ等を通じて公表する予定である。

- ・向日市歴史的風致維持向上計画については、認定後の市組織改編や登録文化財等の異動等を反映させた軽微な計画変更を予定している。次回協議会において審議いただきたく考えている。

なお、次回の協議会については、平成30年6月頃を予定している。